NOMURA

マンスリーレポート

リサーチ・アクティブ・オープン
（野村SMA向け）

追加型投信／国内／株式

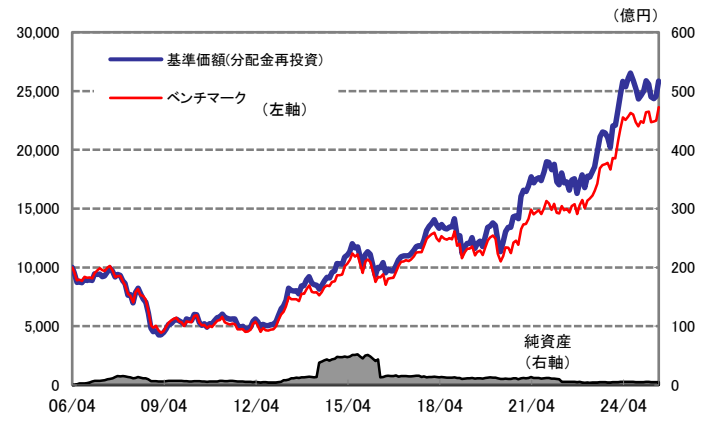
2025年5月30日
（月次改訂）

運用実績

2025年5月30日 現在

運用実績の推移

（設定日前日＝10,000として指数化：月次）



・上記の指数化した基準価額（分配金再投資）の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※	25,752 円
	※分配金控除後
純資産総額	5.0 億円

●信託設定日 2006年4月7日
●信託期間　無期限
●決算日　原則10月30日
（同日が休業日の場合は翌営業日）

騰落率		
期間	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	5.3%	5.1%
3ヵ月	5.4%	5.7%
6ヵ月	3.5%	5.9%
1年	−0.9%	3.6%
3年	49.6%	57.9%
設定来	158.4%	136.3%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来＝2006年4月7日以降

分配金（1万口当たり、課税前）の推移	
2024年10月	5 円
2023年10月	5 円
2022年10月	5 円
2021年11月	5 円
2020年10月	5 円
設定来累計	50 円

※ベンチマークは東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とします。
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

資産内容

2025年5月30日 現在

資産・市場別配分	
資産・市場	純資産比
株式	98.1%
東証プライム	98.1%
東証スタンダード	−
東証グロース	−
その他	−
株式先物	−
株式実質	98.1%
現金等	1.9%

・株式実質は株式に株式先物を加えた比率です。

業種別配分	
業種	純資産比
電気機器	26.6%
機械	9.1%
卸売業	8.1%
小売業	7.1%
化学	6.6%
その他の業種	40.6%
その他の資産	1.9%
合計	100.0%

・業種は東証33業種分類による。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2025年5月30日 現在

銘柄	業種	市場	純資産比
ソニーグループ	電気機器	東証プライム	6.8%
丸紅	卸売業	東証プライム	4.6%
日本電信電話	情報・通信業	東証プライム	3.7%
三菱地所	不動産業	東証プライム	3.3%
信越化学工業	化学	東証プライム	3.3%
トヨタ自動車	輸送用機器	東証プライム	3.2%
東京海上ホールディングス	保険業	東証プライム	3.2%
日立製作所	電気機器	東証プライム	3.2%
富士通	電気機器	東証プライム	2.7%
豊田通商	卸売業	東証プライム	2.7%
合計			36.6%

組入銘柄数　：　62 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

・業種は東証33業種分類による。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は　野村アセットマネジメント

商号　野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。
お申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年0.7095％（税抜年0.645％）以内の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額（ご換金時）	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

≪分配金に関する留意点≫
●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。
野村アセットマネジメント株式会社
☆サポートダイヤル☆　0120-753104（フリーダイヤル）
＜受付時間＞営業日の午前9時～午後5時
☆インターネットホームページ☆　https://www.nomura-am.co.jp/

＜委託会社＞野村アセットマネジメント株式会社
［ファンドの運用の指図を行なう者］
＜受託会社＞三井住友信託銀行株式会社
［ファンドの財産の保管および管理を行なう者］

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は　野村アセットマネジメント
商号　野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

先月の投資環境

○ 5月の国内株式市場は、TOPIX（東証株価指数）が月間で5.03％上昇し、月末に2,801.57ポイントとなりました。

○ 5月の国内株式市場は上昇しました。月初は、日銀が政策金利の据え置きを決定し追加利上げに慎重な姿勢を示したことなどから円安・米ドル高が進行し、国内株式市場も上昇して始まりました。決算発表時における主要企業の自社株買いなど資本政策の発表も好感されました。その後は、米中の追加関税引き下げ合意など主要国間の関税交渉の進展を受け、TOPIXは2009年以来となる13営業日連続（4月22日～5月13日）の上昇となりました。中旬以降は、利益確定と思われる動きにより下落する局面も見られましたが、トランプ米大統領がEU（欧州連合）への関税発動延期を公表したことなどから再度上昇しました。月末にかけても、米大手半導体企業の好決算などを受け堅調な推移となり、月間では5％を超える上昇となりました。

○ 東証33業種で見ると、主要企業が良好な業績見通しを公表した非鉄金属など29業種が上昇しました。一方で、主要電力会社が2期連続の減益見通しとなった電気・ガス業など4業種が下落しました。

先月の運用経過

（運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。）

○ 当ファンドの月間騰落率は+5.32％となり、ベンチマーク（東証株価指数（TOPIX）（配当込み））を0.22ポイント上回りました。その主な要因は、ベンチマークを上回った機械の組み入れ比率を多めにしていたためです。

○ 主な売買では資本効率性を意識した事業ポートフォリオマネジメントや株主還元の拡充を通して中期的にROE（株主資本利益率）の改善が見込まれると判断したその他金融業株を買い付けしました。一方で、手掛けている電子部品の競争環境の激化や外部環境の不透明さの高まりから、利益成長が鈍化する可能性が高まった電気機器株を売却しました。

今後の運用方針 （2025年6月3日　現在）

（以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。）

◎ 投資環境は、次のように考えています。

○ 2025年5月30日に経済産業省が発表した2025年4月の鉱工業生産指数（速報値）は前月比-0.9％となりました。生産用機械工業などにおける減産が押し下げ要因となりました。2025年5月の製造工業生産予測指数は前月比+9.0％、2025年6月は同-3.4％と見込まれています。

○ 野村證券金融経済研究所による2025年度（Russell/Nomura Large Cap・除く金融・連結ベース、2025年5月30日時点）の企業業績は前年度比6.9％の経常減益となる予想です。2026年度は同10.3％の経常増益となる予想です。

○ 日本経済は、緩やかな成長を続けつつも鈍化傾向にあり、トランプ米政権による追加関税などの経済政策の影響については引き続き注意が必要です。1-3月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前期比年率-0.7％となり市場予想を下回りました。輸出の減少や輸入の大幅増加によるマイナスの影響に加え、インフレによる実質雇用者所得の減少などから個人消費も低調でした。4月のCPI（消費者物価指数）上昇率（全国、生鮮食品を除く総合）はエネルギーや生鮮食品を除く食料の上昇などを背景に、前年同月比+3.5％となり、前月の同+3.2％から上昇しました。一方で、日銀は展望レポートにおいて物価見通しを下方修正しましたが、植田日銀総裁は「見通しの確度は高くない」との考えも示しました。米国の経済政策による企業収益及び賃上げへの影響を確認した後、2026年春以降の利上げが検討されると予想しています。当社では2025年の日本の実質GDP成長率は前年比+0.8％と予想しています。

◎ 業績の回復が見込まれる銘柄や増益基調が続くと予想される銘柄、ROEが高いかもしくは改善の見込まれる銘柄を中心に組み入れる方針を継続します。今後も企業の決算動向や今・来期の業績見通しなどを検討した上で銘柄を選定していく予定です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は　野村アセットマネジメント
商号　野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

リサーチ・アクティブ・オープン（野村SMA向け）

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。